

第16期

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EEM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマーGING・マーケット）ブロード・ディバースィファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年8月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

新興国国債オープン （1年決算型） （愛称 アトラス（1年決算型））

【2023年8月14日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「新興国国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））」は、2023年8月14日に第16期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【ホームページ】

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたしました。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債組入比率	債先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	騰落 中率	(参考指数)	騰落 中率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
12期(2019年8月13日)	8,796	100	6.1	244.435	4.4	88.2	—	520
13期(2020年8月12日)	8,879	100	2.1	249.800	2.2	82.1	—	526
14期(2021年8月12日)	9,153	100	4.2	269.446	7.9	84.5	—	539
15期(2022年8月12日)	9,813	100	8.3	281.919	4.6	95.7	—	60
16期(2023年8月14日)	11,352	100	16.7	333.059	18.1	90.5	—	83

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債組入比率	債先物比率
	騰落率		(参考指数)	騰落率		
(期首) 2022年8月12日	円	%	ポイント	%	%	%
	9,813	—	281.919	—	95.7	—
8月末	9,993	1.8	288.301	2.3	92.1	—
9月末	9,923	1.1	284.193	0.8	92.8	—
10月末	10,144	3.4	290.302	3.0	94.7	—
11月末	9,949	1.4	287.771	2.1	94.0	—
12月末	9,696	△1.2	282.676	0.3	93.0	—
2023年1月末	9,860	0.5	288.344	2.3	90.8	—
2月末	10,026	2.2	292.118	3.6	94.1	—
3月末	10,157	3.5	294.681	4.5	93.0	—
4月末	10,318	5.1	301.014	6.8	93.9	—
5月末	10,628	8.3	311.375	10.4	91.3	—
6月末	11,331	15.5	329.762	17.0	93.7	—
7月末	11,325	15.4	328.397	16.5	83.2	—
(期末) 2023年8月14日	11,452	16.7	333.059	18.1	90.5	—

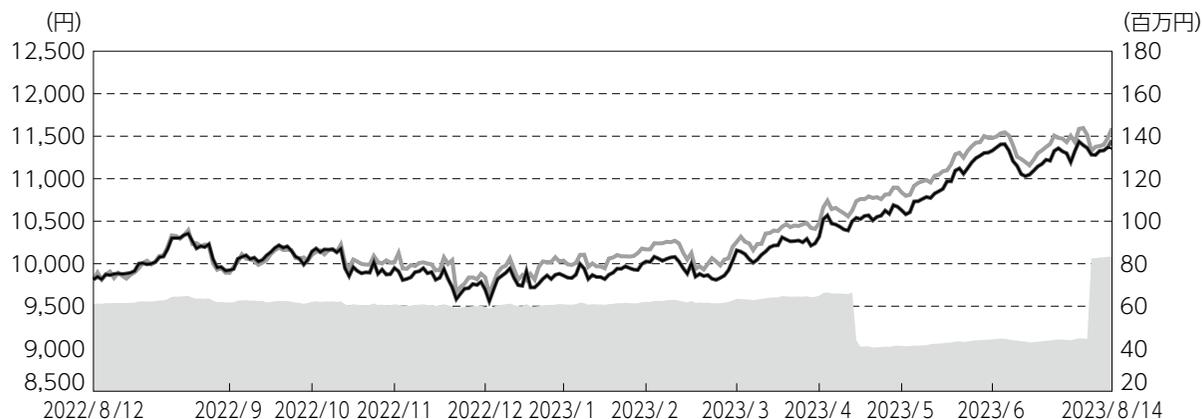
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、J.P. Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2022年8月13日～2023年8月14日）



— 基準価額（左軸）	— 分配金再投資基準価額（左軸）
— GB I-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット） ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）（左軸）	— 純資産総額（右軸）

期 首：9,813円

期 末：11,352円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：16.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、GB I-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2022年8月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・ブラジル、ペルー、インドネシアなどの多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・メキシコペソ、ブラジルリアル、ペルーソルなどの多くの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・南アフリカランド、トルコリラなどが対円で下落したこと。

投資環境

（2022年8月13日～2023年8月14日）

<新興国の国債市場>

新興国の国債市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に日銀を除く主要先進国の中央銀行が金融引き締め姿勢を鮮明にしたことを受けて、先進国の国債利回り上昇（価格は下落）に連動する形で、2022年10月中旬までは利回り上昇基調が続きました。しかし、その後は、FRBの利上げペースが減速したことや、新興国各国のインフレ率の伸びが鈍化したことなどを背景に、多くの新興国において利回りが低下（価格は上昇）しました。特に、ブラジルやペルーでは、利上げが最終局面を迎えつつあるとの見方が強まり、当期末にかけて利回り低下が顕著となりました。一方、トルコや南アフリカでは利回り上昇が進行するなど、投資国間でまちまちな動きとなりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、6.69%から6.39%へ低下しました。

<為替市場>

為替市場では、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。日本と主要先進国との内外金利差拡大や日本の貿易赤字拡大を背景に、新興国通貨が対円で上昇してスタートしましたが、日銀による大規模な円買い為替介入や長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）の修正、海外長期金利の一時的な低下を受けて、2022年10月下旬以降は一転して新興国通貨が対円で下落する展開となりました。しかし、2023年に入ると、主要先進国と日本との金利差拡大を背景に円売り圧力が強まったことに加え、FRBの利上げペース減速を受けて一部新興国への投資資金の流入が継続したことから、メキシコペソやブラジルレアルを筆頭に、多くの投資通貨の対円での上昇が鮮明となりました。また、日銀によるYCCの再修正への懸念が円高要因となる場面も見られましたが、7月に日銀がYCCの運用柔軟化を発表した後は、むしろ材料出尽くしから円売りが優勢となりました。一方、当期間においては、南アフリカランド、トルコリラ、ロシアルーブルが対円で下落しましたが、トルコリラとロシアルーブルは当ファンドにおける投資比率が非常に小さいため、基準価額へのマイナスの影響は限定的となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年8月13日～2023年8月14日）

<新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

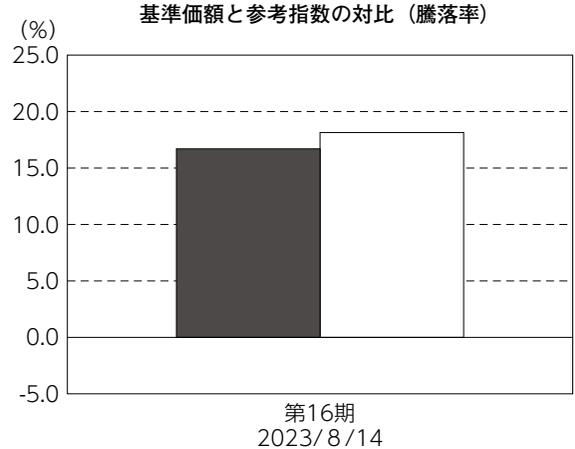
○新興国債マザーファンド

JPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本および円は除いていません）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国国債の投資比率は91.0%、外貨の投資比率は92.3%、投資国上位は、ブラジル、インドネシア、中国、マレーシアとなっています。前期末からの主な変化は、タイ、ブラジルなどの投資比率が上昇する一方、メキシコ、南アフリカなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.71年となり、前期末と比較し短期化となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年8月13日～2023年8月14日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を1.4%下回りました。



■ 基準価額
□ GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)

(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

分配金

（2022年8月13日～2023年8月14日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第16期
	2022年8月13日～ 2023年8月14日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.873%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,976

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

新興国では、FRBによる利上げ打ち止めが視野に入中、多くの国でインフレ率の鈍化が進行するとともに、ブラジルなど一部の国が利下げに踏み切りました。今後は各中央銀行の金融政策スタンスの変化（金融引き締め→金融緩和）や、相対的な利回り水準の高さを背景に、新興国の国債市場への投資資金の流入が継続すると考えています。

為替市場では、7月に日銀がYCCの運用柔軟化を発表しましたが、同時にマイナス金利の解除には距離があるとの見方を示したことから、当面は高水準の内外金利差が維持され、円安圧力が根強く残る展開を想定しています。また、新興国の国債市場への投資資金の流入が、引き続き新興国通貨をサポートすることになると考えています。一方、今後、主要先進国と日本との金利差が縮小に向かう場面では、短期的に円高圧力が強まる展開も想定しておく必要があると判断しています。

（運用方針）

<新興国国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国国債マザーファンド

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としているJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年8月13日～2023年8月14日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	148 (70) (68) (9)	1.438 (0.686) (0.664) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	9 (8) (1) (0)	0.089 (0.075) (0.013) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	157	1.527	
期中の平均基準価額は、10,279円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

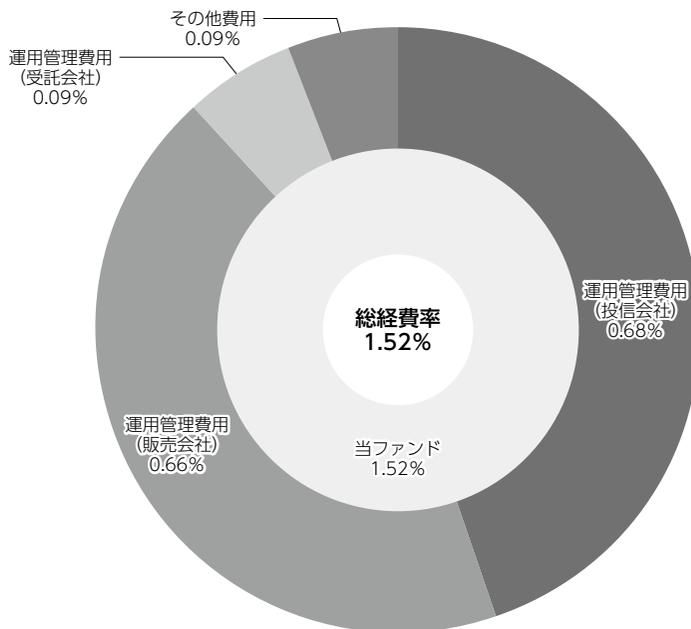
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.52%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年8月13日～2023年8月14日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		定		解		約	
		口	数	金	額	口	数	金	額
			千口		千円		千口		千円
新興国債マザーファンド			26,155		41,803		19,155		28,796

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年8月13日～2023年8月14日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年8月14日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)		当期		期末	
		口	数	口	数	評	価
			千口		千口		千円
新興国債マザーファンド			43,649		50,649		82,736

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2023年8月14日現在）

項	目	当期		期末	
		評	価	額	比
			千円		%
新興国債マザーファンド			82,736		98.2
コール・ローン等、その他			1,529		1.8
投資信託財産総額			84,265		100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,248,693千円）の投資信託財産総額（4,113,189千円）に対する比率は79.0%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.5361円、1ブラジルリアル=29.5597円、1ペルーソール=39.3634円、1トルコリラ=5.374円、1ポーランドズロチ=35.8143円、1ロシアルーブル=1.45円、1マレーシアリングギット=31.5195円、1タイバーツ=4.14円、1インドネシアルピア=0.0096円、1南アフリカランド=7.64円、1オプショア元=19.9671円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年8月14日現在）

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	84,265,574
コール・ローン等	1,529,027
新興国債マザーファンド(評価額)	82,736,547
(B) 負債	1,133,455
未払収益分配金	732,289
未払信託報酬	397,559
未払利息	1
その他未払費用	3,606
(C) 純資産総額(A－B)	83,132,119
元本	73,228,914
次期繰越損益金	9,903,205
(D) 受益権総口数	73,228,914口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,352円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,1352円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は62,047,937円、期中追加設定元本額は38,712,476円、期中一部解約元本額は27,531,499円です。

○損益の状況（2022年8月13日～2023年8月14日）

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 123
支払利息	△ 123
(B) 有価証券売買損益	7,318,631
売買益	8,999,989
売買損	△ 1,681,358
(C) 信託報酬等	△ 847,908
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,470,600
(E) 前期繰越損益金	2,129,310
(F) 追加信託差損益金	2,035,584
(配当等相当額)	(49,647,406)
(売買損益相当額)	(△47,611,822)
(G) 計(D+E+F)	10,635,494
(H) 収益分配金	△ 732,289
次期繰越損益金(G+H)	9,903,205
追加信託差損益金	2,035,584
(配当等相当額)	(49,717,989)
(売買損益相当額)	(△47,682,405)
分配準備積立金	8,690,056
繰越損益金	△ 822,435

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

決算期	第16期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,084,218円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	49,717,989円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	6,338,127円
分配対象収益(a+b+c+d)	59,140,334円
分配対象収益(1万口当たり)	8,076円
分配金額	732,289円
分配金額(1万口当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	100円
支払開始日	2023年8月18日(金)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

・SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2023年7月1日)

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

新興国国債マザーファンド 第16期 運用状況のご報告 決算日：2023年8月14日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰落	中率	（参考指数）	期騰落			
12期(2019年8月13日)	円 11,726	% 7.6	ポイント 244.435	% 4.4	% 88.6	% —	百万円 6,251
13期(2020年8月12日)	12,143	3.6	249.800	2.2	82.5	—	5,379
14期(2021年8月12日)	12,841	5.7	269.446	7.9	85.0	—	4,820
15期(2022年8月12日)	13,883	8.1	281.919	4.6	96.1	—	3,844
16期(2023年8月14日)	16,335	17.7	333.059	18.1	91.0	—	3,828

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2022年8月12日	円 13,883	% —	ポイント 281.919	% —	% 96.1	% —
8月末	14,150	1.9	288.301	2.3	92.7	—
9月末	14,069	1.3	284.193	0.8	93.0	—
10月末	14,401	3.7	290.302	3.0	95.2	—
11月末	14,141	1.9	287.771	2.1	94.4	—
12月末	13,794	△ 0.6	282.676	0.3	93.7	—
2023年1月末	14,046	1.2	288.344	2.3	91.4	—
2月末	14,300	3.0	292.118	3.6	94.8	—
3月末	14,506	4.5	294.681	4.5	93.4	—
4月末	14,754	6.3	301.014	6.8	94.5	—
5月末	15,201	9.5	311.375	10.4	91.8	—
6月末	16,230	16.9	329.762	17.0	94.3	—
7月末	16,240	17.0	328.397	16.5	83.6	—
(期 末) 2023年8月14日	16,335	17.7	333.059	18.1	91.0	—

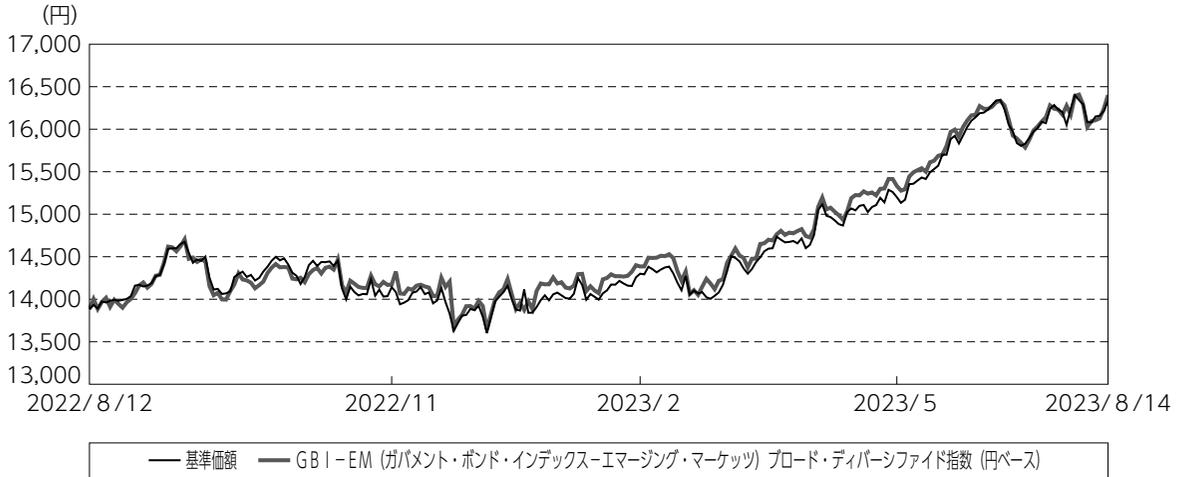
(注) 騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年8月13日～2023年8月14日)



(注) 参考指数は、GB I-E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2022年8月12日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・ブラジル、ペルー、インドネシアなどの多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・メキシコペソ、ブラジルレアル、ペルーソルなどの多くの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・南アフリカランド、トルコリラなどが対円で下落したこと。

投資環境

(2022年8月13日～2023年8月14日)

＜新興国の国債市場＞

新興国の国債市場では、米連邦準備制度理事会（F R B）を筆頭に日銀を除く主要先進国の中央銀行が金融引き締め姿勢を鮮明にしたことを受けて、先進国の国債利回り上昇（価格は下落）に連動する形で、2022年10月中旬までは利回り上昇基調が続きました。しかし、その後は、F R Bの利上げペースが減速したことや、新興国各国のインフレ率の伸びが鈍化したことなどを背景に、多くの新興国において利回りが低下（価格は上昇）しました。特に、ブラジルやペルーでは、利上げが最終局面を迎えつつあるとの見方が強まり、当期末にかけて利回り低下が顕著となりました。一方、トルコや南アフリカでは利回り上昇が進行するなど、投資国間でまちまちな動きとなりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJ Pモルガン社のG B I - E Mブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、6.69%から6.39%へ低下しました。

＜為替市場＞

為替市場では、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。日本と主要先進国との内外金利差拡大や日本の貿易赤字拡大を背景に、新興国通貨が対円で上昇してスタートしましたが、日銀による大規模な円買い為替介入や長短金利操作（Y C C、イールドカーブ・コントロール）の修正、海外長期金利の一时的な低下を受けて、2022年10月下旬以降は一転して新興国通貨が対円で下落する展開となりました。しかし、2023年に入ると、主要先進国と日本との金利差拡大を背景に円売り圧力が強まったことに加え、F R Bの利上げペース減速を受けて一部新興国への投資資金の流入が継続したことから、メキシコペソやブラジルレアルを筆頭に、多くの投資通貨の対円での上昇が鮮明となりました。また、日銀によるY C Cの再修正への懸念が円高要因となる場面も見られましたが、7月に日銀がY C Cの運用柔軟化を発表した後は、むしろ材料出尽くしから円売りが優勢となりました。一方、当期間においては、南アフリカランド、トルコリラ、ロシアルーブルが対円で下落しましたが、トルコリラとロシアルーブルは当ファンドにおける投資比率が非常に小さいため、基準価額へのマイナスの影響は限定的となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年8月13日～2023年8月14日)

J Pモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本および円は除いていません）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国国債の投資比率は91.0%、外貨の投資比率は92.3%、投資国上位は、ブラジル、インドネシア、中国、マレーシアとなっています。前期末からの主な変化は、タイ、ブラジルなどの投資比率が上昇する一方、メキシコ、南アフリカなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.71年となり、前期末と比較し短期化となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年8月13日～2023年8月14日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている J P モルガン社の「G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)」の騰落率を0.4%下回りました。

今後の運用方針**(投資環境の見通し)**

新興国では、F R B による利上げ打ち止めが視野に入中、多くの国でインフレ率の鈍化が進行するとともに、ブラジルなど一部の国が利下げに踏み切りました。今後は各中央銀行の金融政策スタンスの変化(金融引き締め→金融緩和)や、相対的な利回り水準の高さを背景に、新興国の国債市場への投資資金の流入が継続すると考えています。

為替市場では、7月に日銀がY C C の運用柔軟化を発表しましたが、同時にマイナス金利の解除には距離があるとの見方を示したことから、当面は高水準の内外金利差が維持され、円安圧力が根強く残る展開を想定しています。また、新興国の国債市場への投資資金の流入が、引き続き新興国通貨をサポートすることになると考えています。一方、今後、主要先進国と日本との金利差が縮小に向かう場面では、短期的に円高圧力が強まる展開も想定しておく必要があると判断しています。

(運用方針)

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債(米国、ドイツ、日本)や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としている J P モルガン社の G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 8 月13日～2023年 8 月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	11 (11)	0.077 (0.076)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金銭信託支払手数料等
(そ の 他)	(0)	(0.001)	
合 計	11	0.077	
期中の平均基準価額は、14,652円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2022年 8 月13日～2023年 8 月14日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	千メキシコペソ 10,847	千メキシコペソ 31,213
	ブラジル	千ブラジルリアル 10,007	千ブラジルリアル 11,162
	ペルー	千ペルーソル 11,458	千ペルーソル 14,071
	トルコ	千トルコリラ -	千トルコリラ 6,318
	ポーランド	千ポーランドズロチ 5,324	千ポーランドズロチ 8,810
	マレーシア	千マレーシアリングgit -	千マレーシアリングgit 4,006
	タイ	千タイバーツ 20,159	千タイバーツ -
国	インドネシア	千インドネシアルピア -	千インドネシアルピア 9,258,900
	南アフリカ	千南アフリカランド 32,383	千南アフリカランド 36,343

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年8月13日～2023年8月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年8月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 44,000	千メキシコペソ 40,385	千円 344,733	% 9.0	% -	% 9.0	% -	% -
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 18,800	千ブラジルレアル 18,282	540,438	14.1	14.1	14.1	-	-
ペ ル ー	千ペルーソル 9,201	千ペルーソル 9,615	378,484	9.9	-	9.9	-	-
ト ル コ	千トルコリラ 2,000	千トルコリラ 1,929	10,367	0.3	0.3	-	-	0.3
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 11,000	千ポーランドズロチ 8,400	300,849	7.9	-	7.9	-	-
ロ シ ア	千ロシアルーブル 165,000	千ロシアルーブル 0.00016	0.000232	0.0	0.0	-	0.0	-
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 12,000	千マレーシアリンギット 12,090	381,085	10.0	-	4.1	-	5.8
タ イ	千タイバーツ 45,000	千タイバーツ 44,719	185,139	4.8	-	-	4.8	-
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 48,000,000	千インドネシアルピア 51,971,520	498,926	13.0	-	12.0	-	1.0
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 56,000	千南アフリカランド 49,731	379,949	9.9	9.9	8.3	1.7	-
中 国 オ フ シ ョ ア	千オフショア元 22,000	千オフショア元 23,172	462,684	12.1	-	3.7	8.4	-
合 計	-	-	3,482,658	91.0	24.3	69.0	14.9	7.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B 格以下組入比率には、無格付を含みます。

新興国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄			当期				償還年月日
			利率	額面金額	評価額	未	
					外貨建金額	邦貨換算金額	
					千円		
メキシコ			%	千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	MEXICAN BONOS 7.5	7.5	12,000	10,782	92,037	2033/5/26
		MEXICAN BONOS 7.75	7.75	32,000	29,603	252,695	2031/5/29
小		計				344,733	
ブラジル				千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	8,000	7,912	233,902	2029/1/1
		BRAZIL NTN-F 10	10.0	10,800	10,370	306,535	2033/1/1
小		計				540,438	
ペルー				千ペルーソル	千ペルーソル		
	国債証券	PERU B SOBERANO 7.3	7.3	9,201	9,615	378,484	2033/8/12
小		計				378,484	
トルコ				千トルコリラ	千トルコリラ		
	国債証券	TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	2,000	1,929	10,367	2024/3/20
小		計				10,367	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	POLAND GOVT BOND 1.25	1.25	11,000	8,400	300,849	2030/10/25
小		計				300,849	
ロシア				千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	国債証券	RUSSIA-OFZ 7.05	0.0	165,000	0.00016	0.000232	2028/1/19
小		計				0.000232	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	MALAYSIA GOVT 3.882	3.882	7,000	7,054	222,359	2025/3/14
		MALAYSIA GOVT 3.885	3.885	5,000	5,035	158,725	2029/8/15
小		計				381,085	
タイ				千タイバーツ	千タイバーツ		
	国債証券	THAILAND GOVT 2.125	2.125	45,000	44,719	185,139	2026/12/17
小		計				185,139	
インドネシア				千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券	INDONESIA GOV' T 10	10.0	4,000,000	4,168,920	40,021	2024/9/15
		INDONESIA GOV' T 7	7.0	24,000,000	24,804,000	238,118	2030/9/15
		INDONESIA GOV' T 8.25	8.25	20,000,000	22,998,600	220,786	2036/5/15
小		計				498,926	
南アフリカ				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	REP SOUTH AFRICA 10.5	10.5	8,000	8,361	63,882	2026/12/21
		REP SOUTH AFRICA 8	8.0	10,000	8,988	68,668	2030/1/31
		REP SOUTH AFRICA 8.25	8.25	38,000	32,382	247,399	2032/3/31
小		計				379,949	
中国オフショア				千オフショア元	千オフショア元		
	国債証券	CHINA GOVT BOND 2.91	2.91	7,000	7,150	142,778	2028/10/14
		CHINA GOVT BOND 3.82	3.82	15,000	16,021	319,905	2027/11/2
小		計				462,684	
合		計				3,482,658	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 利率は、期末における利率です。

○投資信託財産の構成

(2023年8月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 3,482,658	% 84.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	630,531	15.3
投 資 信 託 財 産 総 額	4,113,189	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,248,693千円)の投資信託財産総額(4,113,189千円)に対する比率は79.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.5361円、1ブラジルリアル=29.5597円、1ペルーソル=39.3634円、1トルコリラ=5.374円、1ポーランドズロチ=35.8143円、1ロシアルーブル=1.45円、1マレーシアリンギット=31.5195円、1タイバツ=4.14円、1インドネシアルピア=0.0096円、1南アフリカランド=7.64円、1オフショア元=19.9671円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年8月14日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,395,248,106 円
コール・ローン等	584,843,707
公社債(評価額)	3,482,658,766
未収入金	283,248,095
未収利息	41,109,453
前払費用	3,388,085
(B) 負債	566,983,985
未払金	566,977,145
未払利息	736
その他未払費用	6,104
(C) 純資産総額(A-B)	3,828,264,121
元本	2,343,629,460
次期繰越損益金	1,484,634,661
(D) 受益権総口数	2,343,629,460口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,335円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.6335円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,769,463,873円、期中追加設定元本額は26,155,502円、期中一部解約元本額は451,989,915円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国債オープン(毎月決算型)(愛称 アトラス(毎月決算型))
2,292,979,599円
新興国債オープン(1年決算型)(愛称 アトラス(1年決算型))
50,649,861円

○損益の状況 (2022年8月13日~2023年8月14日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	237,970,342 円
受取利息	238,051,376
その他収益金	817
支払利息	△ 81,851
(B) 有価証券売買損益	366,924,317
売買益	446,393,652
売買損	△ 79,469,335
(C) その他費用等	△ 2,854,735
(D) 当期損益金(A+B+C)	602,039,924
(E) 前期繰越損益金	1,075,372,914
(F) 追加信託差損益金	15,647,820
(G) 解約差損益金	△ 208,425,997
(H) 計(D+E+F+G)	1,484,634,661
次期繰越損益金(H)	1,484,634,661

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

・SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2023年7月1日)